

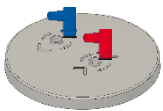
機械器具 32 医療用吸引器

一般医療機器 吸引器用ボトル (JMDN コード: 38476000)

IN DASH ボトルミドル

【形状・構造および原理等】

1. 形状・構造



フタ × 1 個
(中皿付き)



中皿 × 1 個



本体 × 1 個
(ボトル、取手)



IN DASH 廃液処理タブレット
(凝固剤: 別売り)

2. 原理

硬質プラスチック製のボトルに廃液処理タブレットをセットし、ボトルに流入した廃液を廃液処理タブレットが吸水、ゼリー状に固化する。本製品は連結して使用することもでき、蓋の下部に装着した中蓋により、中蓋まで溜まったゼリー状の廃液を堰き止め、連結した隣のボトルには廃液のみが流れる構造となっている。

<仕様等>

・本製品を電動式真空ポンプを搭載したポータブル型の医療用吸引器に接続したうえで、ゲージ圧が 18 秒以内に -60kpa まで到達することを確認する。

【使用目的又は効果】

本製品はシリコンチューブにより、病院の医療ガス供給システムから供給される陰圧を利用、または、電動式真空ポン

プを搭載したポータブル型の医療用吸引器にも接続して、吸引器と同時に使用される。手術室や内視鏡室、耳鼻科などでの排せつ、体液、血液、洗浄用生理食塩水などを回収する容器として使用する。在宅での治療・吸引処置にも用いることができる。

【使用方法等】

1. 準備

吸引源となる製品の取扱説明書・添付文書と合わせてお読みください。

◆ボトルの組み立て

ボトル内に廃液処理タブレットをおおよそ 150g 投入し、蓋をボトルに置き、時計回りに止まるまで回して準備完了です。



フタを動かなくなるまで時計回りに回してください。

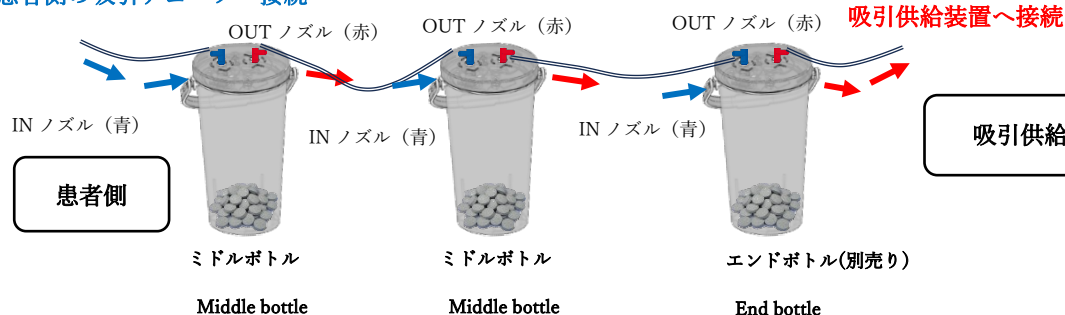


◆連結の手順（3 連結）

青いノズルが IN（患者側）で赤いノズルが OUT（吸引供給装置側）となります。

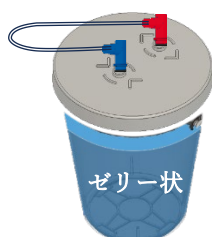
入口(青色)と出口(赤色)のノズルを間違いに注意してください。

患者側の吸引チューブへ接続



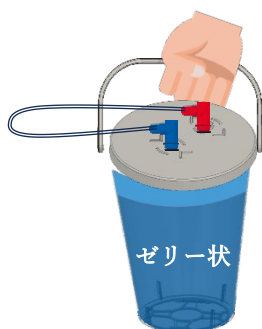
◆ボトルの交換方法

シリコンチューブをジョイントに差し込んでください。



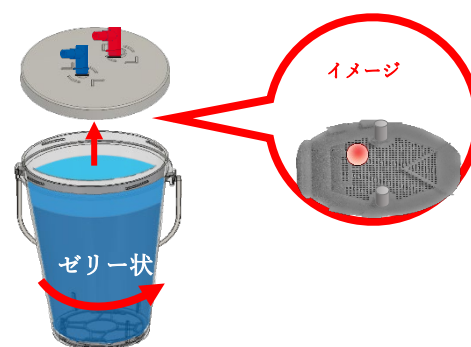
満杯となったボトルは取手をもって、使用後は各施設の院内の「廃棄物処理規定」に順じて廃棄してください。

チューブが外れボトル内の廃液を飛散させないように、持ち運び時にはチューブを持たず、取手を持つようにしてください。



◆抽出サンプルの取り出し方方法

抽出サンプルを中皿で拾い上げることができます。吸引供給装置を止めて、反時計回りに回してください中皿に留まった抽出サンプルを拾い上げることができます。作業時はマスク、手袋、ゴーグルを使用してください。フタをボトルに装着すれば使用を再開できます！



【保管方法及び有効期間】

有効期間は特にありません。

直射日光を避け、高温多湿、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない常温、常湿で保管してください。

【使用上の注意】

- ・ 本製品を取り扱う場合には、ゴム手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を必ず着用してください。
- ・ 吸引供給装置、本製品及び患者に異常のないことを絶えず監視してください。

- ・ 本製品をご使用中にフタをあけないでください。廃液の飛散の原因となります。
- ・ ボトルの目盛は精度が確保されたものではないので、目安として用いてください。(吸引バッグの内容物、使用状況による誤差を生じる場合があります。)
- ・ ボトルは平衡を保ち、傾けないでください。
- ・ 吸引ホースが折れ曲がらないように注意してください。
- ・ 吸引供給装置、本製品及び患者に異常が発見された場合には、使用を中止してください。
- ・ 使用中に異常を感じた時は、使用を中止してください。排液の滲出、又は飛散による周辺の汚染の疎恐れがあります。
- ・ 本製品を設置する場合は、振動、衝撃などのある場所を避けてください。
- ・ 使用後は「感染性廃棄物処理マニュアル」(環境省：環廃産発第 040316001 号)に従って処理してください。
- ・ 吸引を休止する時は、吸引供給装置を操作して吸引圧力を停止または閉止してください。
- ・ 本製品を設置する場合は、屋内で常温を選び、温度湿度が極端に低いまたは高い場所、直射日光のあたる場所を避けてください。
- ・ ボトルは必要に応じて洗浄・消毒後、よく乾燥させて清潔な場所に保管してください。

【保守・点検に係る事項】

(滅菌・消毒について)

- ・ 本製品は、オートクレーブ滅菌およびまたは消毒液で消毒することができます。
- ・ オートクレーブ滅菌を行う際には、滅菌器のヒーターに近づけすぎないように必ずトレーなどの上にのせた状態で滅菌してください。また、直接滅菌器の缶体に触れると変形、劣化する恐れがありますのでご注意ください(乾燥時の温度が 121℃を超えない機器で滅菌して下さい)。
- ・ 消毒薬による消毒の際には医療従事者の判断のもと、適した消毒薬を選択し、消毒薬の添付文書に記載されている濃度・用法・用量を必ずお守りください。消毒後滅菌水などですすぎ洗いし、よく乾燥させてから清潔な場所に保管してください。樹脂の劣化を起

こす可能性のある、次亜塩素酸ナトリウム、両性界面活性剤、クレゾール、ポビドンヨード、アルコール類(消毒用エタノールなど)は使用しないでください。グルコン酸クロルヘキシジン(ヒビテン液など)、逆性石けん類(オスバン液など)の樹脂にやさしい消毒薬のご使用をおすすめします。

(点検項目(日常点検))

- ・ 使用前に必ず下記の点検をしてください。
- ・ 本製品外観の点検(破損・ヒビ・汚れなど)
- ・ 本製品及びホース類に硬化や劣化。
- ・ 吸引供給装置の点検(吸引供給装置の点検方法は吸引供給装置の添付文書、取扱説明書を参照してください。)
- ・ 日常点検(使用前点検)または使用中に異常があった場合は、速やかに該当する部品を交換してください。
- ・ 交換部品については、当社の純正部品以外は使用しないでください。

【その他】

- ・ 本製品を使用する前には、必ず表示事項及び取扱説明書を読み、その内容を把握してください。
- ・ 本製品を用途以外に使用しないでください。
- ・ 吸引供給装置以外には接続しないでください。陽圧やその他の配管に接続すると患者、使用者及び装置に損傷を与え、又は性能が変化する恐れがあります。
- ・ お客様の施術に適した流量及び圧力を設定した上で、本製品が正常に作動することを確認してください。
- ・ 一つの医療ガス配管設備では一つの吸引を行い、二股等の同時使用はご遠慮ください。
- ・ 吸引チューブは直接患者に適用せず、必ず先端に適切な先端具を接続してご使用ください。
- ・ 本製品を使用前、使用時または使用後において、チューブ類の取り外しに際しては、無理な力をかけないでください。
- ・ 本製品の使用後は定められた手順により、開閉バルブ、圧力調整ノブ等を使用前の状態に戻した後、

吸引供給装置の供給状態を停止し、その後接続を切ってください。

- ・ 使用後にフタを開け、中蓋より摘出サンプルを取り出す場合は、ゴム手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を必ず着用してください。
- ・ 使用後、持ち運ぶ際には取手を持ってください。
- ・ 本製品を採血用吸引器として、使用しないでください。
- ・ アルコール等の有機溶媒を吸引しないでください。
- ・ 吸引の圧力があがると連結した本製品に廃液が少量流れ込むことがあります。長時間の圧力上昇は避けて下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

<製造販売業者>

株式会社エクセルシア

東京都世田谷区若林 3 丁目 30 番 2 号

TEL 03(5431)7341

<製造業者>

有限会社山下プラスチック工業

坂戸事業本部